タイムス杯少年サッカー新人戦

須坂 粘りで2回目V

中信勢は3位に菅野

第十五回市民タイムス杯少年サッカー新人戦（松本市サッカースポーツ少年団連合会、市民タイムス主催、カガミグループ協賛）は十二日、松本市の信明中学校で決勝トーナメントを行い、JFC須坂サッカースクール（須坂市）が延長戦の末、上田ジェンシャンジュニア（上田市）を4―3で下し、四年ぶり二回目の優勝を飾った。

昨年と同数の64チームが、二日間の日程で熱戦を展開。決勝は延長にもつれ込んだ接戦を須坂が制した。中信勢は菅野サッカースポーツ少年団（松本市）が3位に入った。グラウンドには多くの父母らが応援に駆けつけ、選手らに大きな拍手を送っていた。

閉会式では、優勝した須坂、準優勝の上田、3位の菅野、吉田少年サッカークラブ（長野市）の上位4チームが表彰を受けた。

大会長の新保力市民タイムス社長は「新人戦らしい元気あふれる大会になった。この大会を糧にさらに練習に励んでほしい」と健闘をたたえ、松本市サッカースポーツ少年団連合会副会長の中山英明大会副委員長が「今後、長野県サッカーのリーダー的な存在になってほしい」と選手を励ました。

◇信明中学校グラウンド

▽準々決勝

上田ジェンシャン 5（2―0、3―0）0 昭和FC

菅野 2（0―0、2―1）1 旭町

須坂 0（0―0、0―0、PK 3―1）0 諏訪

吉田 3（1―1、2―1）2 上ヨス

▽準決勝

上田ジェンシャン 7（4―0、3―0）0 菅野

須坂 2（0―1、2―1、PK 6―5）2 吉田

▽決勝

須坂 4（2―1、0―0、延長 1―0）3 上田

▽得点者【須】田中【上】田中、小熊、磯谷

【評】粘りをみせた須坂が延長戦を制した。須坂は前半五分、FW田中純平の右サイドからのシュートをキーパーがはじき先制。直後に追い付かれ逆転を許したが、1点差とした後半十五分、田中がPKを確実に決めて同点。延長の後半一分には田中のセンタリングが直接ゴールに入り、決着をつけた。上田は前半、2点差を付けて折り返したものの、相手の速いパス回しに競り勝てなかった。

1人で4得点 FW・田中君 須坂

○…四年ぶり二回目の優勝を飾った須坂。決勝は2点差をつけられたものの、粘りをみせて後半に同点に追い付き、延長で決着を付けた。一人で4得点を挙げたFW・田中純平君（二）＝須坂小五年＝は「絶対、優勝しようと思った」と話した。「チームが一つになれた」と山崎貴司主将（二）＝綿内小五年。速いパス回しと積極的なプレスで接戦を制した。

「やりにくかった」地元対決 菅野

○…中信勢同士の争いとなった菅野対旭町の準々決勝は菅野が2―1で制し、四強入り。旭町戦は地元同士だけに「やりにくかった」と木下正之コーチ。準々決勝はサイドからチャンスを広げる本来のペースに持ち込み、接戦を制した。準決勝は上田に7―0で敗れたものの、3位に輝いた。白木大地主将は「準決勝まで勝ち進めることができてうれしかった」と今大会を振り返った。

4年ぶり2回目の優勝を飾ったJFC須坂サッカースクール

準優勝の上田ジェンシャンジュニア

3位の菅野サッカースポーツ少年団

3位の吉田少年サッカークラブ